

全体にかかわる課題を探り、各教科の授業に役立てられるように深めたいと思います。
国語教育をはじめとする言語教育が実用面、情報読み取りに重きが置かれ文学的な要素が減じられるとの批判があります。
紅野謙介さんには学習指導要領の改訂によって国語教育にどのような影響がでるのか、また大学入学記述試験についてもお話をいただきます。国語をはじめ言語教育や他教科で、教職はどのような点に注意を払い授業を組み立て、教育実践をするべきか交します。
地歴公民の「公共」「歴史総合」などについて国家主義的視点が顕著になるとの指摘があります。
河合美喜夫さんは具体的に教科書のどのような点、項目、単元が変更され、生徒にどのような影響をおよぼすかを伺います。また「社会科」の改変がどのようになされてきたのかについても触れていただきます。

「リジュバ」そのものの危機

「国語」改革における多様性の排除より

どのように自分自身の言葉を取り返すのか

教育における国家主義的視点の問題性

「入試で教育を変えろ」という倒錯

講師：紅野謙介さん
演題：「記述式問題のゆくえ
～共通テストの国語の場合～」

講師：河合美喜夫さん
演題：「新学習指導要領と高校教育課題
～高校「社会科」の改変を中心に～」

Zoomウェビナー×総合研究会
<https://kyobun-kaigi.org/> E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

オンラインで 総研 やります。

お申込みは教文会議HPから。お申し込みの方に、URLをメールにてお知らせします。

14:00～16:30
2020. 7 / 18 教文会議

教文会議 第2回総合研究会

テーマ:学びとは? 学力とは?

～学習指導要領「資質・能力」を中心に考える～

2020年7月18日(土)午後2時から4時30分

ZOOM ウェビナー(ウェブセミナー)で開講!

参加申し込みは「長野県教文会議HP」の「各種お申込み」から。
申し込まれた方にはウェビナーURLをご連絡します。

新型コロナウイルス感染症の状況下で「学び」について様々な制限が学校現場に加えられ、本来どうあるべきか基本的な意味を私たちは考える必要に迫られました。この先コロナ鎮静後も「学び」はどうあるべきかを問い続け実践する必要があります。

2022年に新学習指導要領が高校で始まります。総合研究会では新しい学習指導要領の下での教育・授業実践について研究、検討をします。大きな変更がある、国語教育、社会科教育「公共」や道徳教育等の課題を通じて学習指導要領の全体にかかわる課題を探り、各教科の授業に役立てられるように深めたいと思います。

国語教育をはじめとする言語教育が実用面、情報読み取りに重きが置かれ文学的な要素が減じられるとの批判があります。

紅野謙介さんには、学習指導要領の改訂によって国語教育にどのような影響がでるのか、また大学入学記述試験についてもお話をいただきます。国語をはじめ言語教育や他教科で、教職員はどのような点に注意を払い授業を組み立て、教育実践をするべきか交流します。

地歴公民の「公共」「歴史総合」などについて国家主義的視点が顕著になるとの指摘があります。

河合美喜夫さんには具体的に教科書のどのような点、項目、単元が変更され、生徒にどのような影響が出るかお話を伺います。また「社会科」の改変がどのようになされてきたのかについても触れていただきます。

国語や社会科にみられる改変と課題を通して、広く各教科に共通する課題を明らかにします。

今回は新しい取り組みとしてZOOMウェビナーで総合研究会を実施します。各校からたくさんの先生方にご参加いただき交流できることを楽しみにしています。

長野県教文会議HPの「各種お申込み」からお申し込みください。

講師:紅野謙介さん

(日本大学文理学部教授、学部長、

筑摩書房高等学校用国語教科書編集委員)

演題:「記述式問題のゆくえ～共通テストの国語の場合～」

講師:河合美喜夫さん

(中央大学法学部特任教授、歴史教育者協議会会員、

教育科学研究会全国委員)

演題:「新学習指導要領と高校教育の課題～高校「社会科」の改変を中心に～」